

人権教育アニメーション

いいところ見つけた
あの子もこの子も
みんなきらきら
ひがってる

(テーマ曲より)



みんないちばん!

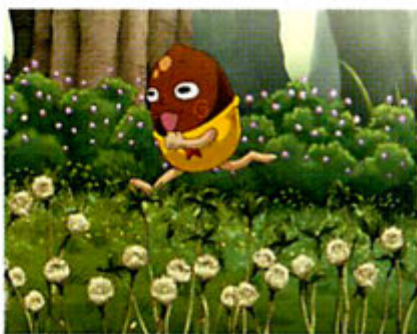
上映時間13分

企画・製作 (株)ドラコ

DVD 50,000円(税別)



みんないちばん!



制作意図

子供たちは、さまざまな経験を通し成長していきます。その過程で、つまづき自信を失うこともあります。友達をうらやむこともあります。しかし一人一人は違っていても、みんなすばらしいところを持っています。

この作品は、ともだちのいいところを認め、自分のいいところを見つけることのすばらしさを伝えます。それが、自分も大切、相手も大切という人権感覚を身につけることにつながると考えています。

あらすじ

小さな森の小さな仲間たちのお話です。

朝早く、起きだしたのは、元気いっぱいのどんぐり君。まだ眠い仲間を起こし、遊ぼうとせがみます。さっそく始まったのが、木の上で飛び上がる遊び。みんな挑戦しますが、どんぐり君の大ジャンプにびっくり。声をそろえて歌います。

「だれが一番、だれが一番、だれが一番、飛べるかな？」

「どんぐり君！」

負けちゃいけない。今度は松ぼっくり君の番です。剣道の達人、松ぼっくり君が枯葉をバサリ。みんな真似しますが、ありません。次に球根君が穴掘り名人に、たけのこ君が大きな石を持ち上げ力持ち一番になります。

だけどきのこちゃんだけは、どれもうまくできません。きのこちゃんは、自分にはいいところがないと落ち込みます。でも仲間たちはわかっていました。雨にうたれた小さな虫たちを助けるきのこちゃんが、優しさ一番だということを。みんなは、歌います。

「いいところ見つけた、あの子もこの子も

みんなきらきらひかてる

みんな一番、みんな一番、みんな違って、みんな一番」

